

陽あたり、良好!



令和2年

8月31日(月)

【No. 18】

『中間考査に全力投球!』

いよいよ中間考査が近づいてきました。中学校での定期考査も今回は2回目、もう様子は分かっていると思います。ただ、前回よりも試験教科数が減って5教科となるので、その分だけ一つ一つの教科の勉強にかける時間を増やせるはずです。水曜日には、試験範囲表と学習計画表を配布しますので、前回の経験を生かして、中身の濃いしっかりとした計画を立てましょう。



1学期の期末考査でも計画表を立てましたが、「僕は計画表なんか書かなくても勉強できるよ」「どうせ計画表を書いてもその通りになんか進まないもん」…などと思った人はいなかったでしょうか…?確かに、計画表がなくても勉強はできますし、せっかく計画を立ててもまったくその通りになんか進まないことも有り得ます。でも、行き当たりばったりに勉強していくことが本当にいいことでしょうか?どの教科をいつどれぐらい勉強するかを考えて、組み立てていくことはとても大切なことです。これは、再来年受験生になったときにも必要ですし、将来就職して何かの仕事を任されたときにも、計画的に物事を進める能力が必要とされるはずです。そう考えると、この計画表を作成すること自体も、言わば“勉強”なのですね。

もちろん、立てた計画を修正せざるを得ないことは考えられます。でもその経験が、きっと次の計画を立てるときに生きてくるはずです。そのためにはいい加減ではなく、真剣に本気で計画を立てていくことが大切です。今度の中間考査のために、さらには受験生となった自分や将来の自分のために、ぜひしっかりと「学習計画表」を作成していきましょう。

さて、みなさんは1学期から「学習ノート」の取組を始めています。この夏休みも、自由課題として取り組んでもらいましたが、提出されたノートを見てみると、ものすごく頑張っていたことが伝わってきました。毎日欠かさず取り組んだ人、1日に何ページも学習した人、取り組んだ内容がすごくレベルの高いものだった人…、本当によくやり遂げましたね。その1ページ1ページが、積みもり積みもって大切な宝物となっていくのです。「学習ノート」の取組を継続して行ってきた人たちは、これからテストまでの2週間は、今まで取り組んできた学習時間を少し広げていけばいいのです。毎日の家庭学習が習慣化している人はそこが強みなのです。これまでの努力の成果が出るといいですね!

覚悟を決めて、さあ勉強勉強～ “全力投球” で頑張ろう!

シリーズ読み物(1) 「見えない努力」

先日の学活の時間に読み合わせた「見えない努力」について、各クラスでどう感じたのかの感想が寄せられました。みなさん、いろいろなことを感じたようですが、仲間の意見にも耳を傾けてみると、いろいろと参考になると思うので、紙面の許す限り紹介したいと思います。（「見えない努力」は裏面に掲載しました）

- 『ちりも積もれば山となる、は勉強においても同じだと分かった。わずかな時間でも毎日続けていけば、テスト前日に一夜漬けで行うよりよっぽど楽で、少しずつの時間で行うことができると気付いた。』
- 『この文章の中で、私は2つ目の目的にハッとしました。私在家で勉強する理由は「テストがあるから」です。この部分を読んで、確かにテストがなければ家で勉強しない気がしました。テストがあれば結果がはっきり出るので、怖くて勉強に力が入ります。テストのある理由について考えるとおもしろいと思いました。』
- 『自分はとてもテストがきらいです。しかし、母に「テストは自分の理解しているところを知れるいい機会だよ」と言われたのは心に残っています。将来の夢や目指しているものに向かって、毎日努力することの大切さを改めて感じました。』
- 『私は、テストはキライではありませんが、テスト前の二週間はキライです。なぜなら、二週間前になって、毎日2〜4時間勉強しようとしても出来ないからです。私は、この読み物を読んで、毎日10分ずつでも勉強していくことや、知識や理解だけでなく家庭学習の大切さを知りました。一気に2〜4時間やって分かったフリをしても、自分のためにはならないので、コツコツ勉強して分かったフリにならないようにしたいです。』
- 『ぼくがこの文を見て学んだことは、自分たちがいやだと思っている勉強や運動でも、先生や先輩方が言っていたようになんらかの意味があり、そしてそれを継続していくと、新しい挑戦のトビラへとつながる一歩ではないかなということです。ぼくはこの見えない努力に挑戦して、新しい一歩へと進んでいきたいです。』
- 『テストは毎日の継続が大切であり、自分の学習をする習慣をつけられる一つの大切なものだと思います。「努力したものがそのまま返ってくる」、だからこそ学習の仕方なども見直せるいいものだと思います。』
- 『自分は、中学校初めてのテストで、勉強しないでも100点を取れると思っていた、実際には100点は1個しかなかったの、今からでも中間テストに向けて少しでも勉強しようと思いました。』
- 『勉強頑張ってみよう！よし3時間やろって言って、1回の勉強でもう嫌だ、やらない、じゃなくて、少しずつこれくらいなら出来る！というのを、何日も何日も繰り返した方がいいなと自分も思った。嫌ではなくなるように、工夫して勉強しようと思った。』
- 『1日に多くやるのではなくて、少しを継続しようと思えた。1時間やったから「えらい」ではなく、「あたりまえ」と思った方がいいと思えた。』

- ③『この話を読み、もっと1回1回の授業を大切にすべきだなと思った。また、定期テストでは、夜になって何時間もやることがほとんどだったので、もう少し計画的にメリハリをつけてやった方が良かったと思う。なので、中間テストの勉強は、もっと計画的にできるようにしたい。』
- ④『テスト勉強はテストの結果のためだけでなく、これからの自分のためでもあると思った。これからは「いや」と言わずに、しっかりと継続できるように努力をしていきたい』
- ⑤『私は、この物語を見て本当にその通りだなと感じました。小学校の頃は、テスト前に一気にやっていましたが、その覚えた内容は3日もすれば忘れてしまっていました。しかし、中学生になり毎日コツコツ勉強すると、頭に深く記憶され、しっかりと身についていることが感じられます。私はこの物語のように、毎日少しでもいいから、持続して物事を行うことを大切にしていきたいです。』
- ⑥『自分は部活のことで、最初は頭が混乱することも多くあったが、今ではほとんどの仕事や練習メニューを覚えて、活動することができています。今日、読んだものは、自分の体験と似ていると感じました。これからも毎日少しずつ努力をし、最終的には結果として表れるように工夫して、これから生活していきたいと思いました。』
- ⑦『たまに「見える努力」と「見えない努力」をしましょう、と言われることがあって、私は人から見られていない所での努力が「見えない努力」なんだろうな、と思っていたけど、「見えない努力」というのは、毎日少しずつコツコツと積み重ねていくものなんだと知った。これからは、ていねいに繰り返しながら努力していきたい。』
- ⑧『母がよく、勉強をゲームだと思いなさい、と言っていた事の意味を実感しました。ぼくはゲームでばかにされ、それがきっかけで努力をし、学校の中で一番強いほどになりました。この経験を生かして、これからは母の言葉を大事に、努力というものを身につけていきたいと思いました。』
- ⑨『この文を読んで、自分が夏休みの間、毎日ストレッチと筋力トレーニングをしていたことを思い出した。何をやっても続かなかったが、これは続いた。二週間もすると、続けてできなかった腹筋20回が続けて出来るようになっていたり、長座体前屈で足の裏まで届くようになっていたり、やっぱり継続は力なり、なのだなあと思った。毎日少しずつの見える努力が、自分の確実な力になっていると分かった。』
- ⑩『この文章を読んで、毎日毎日同じことを繰り返し行うことが、いかに大切かということがよくわかった。僕は今まで、このような毎日毎日継続してやることはできていたと思うので、この文章の「毎日十粒」を、十一粒、十二粒と、1日の勉強量をどんどん増やしていきたい。』
- ⑪『テストの必要性を知ることにより、なんのために頑張るのか、ということを経験の中で再確認することができました。1日1日の努力の理由は、それぞれ違うと思いますが、私は自分のために努力しようと思いました。一回でも悔いの残る結果だったら、もっとテストに対し、悪い印象を抱いてしまうと思うからです。』
- ⑫『みんながいろいろなことを考える機会になったようじゃな。第二弾もお楽しみに…』

「見えない努力」

「テスト」というと「いやだな～」という声がすぐ返ってきます。確かにテストはだれにとってもいやなものです。「勉強しなければならないから」とか「評定に結びつく」というのが、その理由でしょう。痛いから注射はいやだというのに似ていると思います。注射は病気を治すために行うものですね。いやだからといって避けられません。

ところで、学校のテストの目的は何でしょうか。大辞泉（辞書）には、「①学力・能力などの状態や度合いを試すこと。試験。検査。②事物の良否・性能などを試して調べる。試験。実験。」と出ています。通知表の評定につなげるため、という目的は確かにありますが、評定をするだけならテストなどしなくても可能です。普段の授業や提出物等できちんとつけられます。

テストの第1の目的は、習ったことがどれだけ理解できているかを知ることです。分かったつもりになっているところや、誤って理解しているところなどもあると思います。それを発見するためにも行います。

2つ目の目的は、テストを行うことにより少しでも学習する習慣をつけます。テストがないとなかなか勉強はできないものです。また、知識等を覚えるにもテストは有効です。

そして、3つ目には、テストをすることにより、普段の学習がいかに大切であるかが理解できます。テストの前日の一夜漬けでは、本当の学力とはならないことを痛感するはずです。毎日10分ずつ1か月実行すれば、月に5時間になります。この5時間は、1日でいっぺんに行う5時間とは違います。ある1日に5時間を行い、残りの29日を遊んでしまったのでは、本当の力とはなりません。毎日継続すること、繰り返し反復していくことが知識や理解へつながっていくのです。

しかし、1日やったからといって1日分の学力がすぐにつくというものではありません。ある期間続けるといつの間にか「力」となっていくものです。コップ一杯の米の上に毎日十粒ずつ足して試みて下さい。10日ぐらいでは、増えているようには思えませんが、1か月もするとコップの表面が膨らみ、確かに増えていることが分かります。日々の学習は、このようにコップに米粒を付け加えていくような見えない努力をすることではないでしょうか。ぜひ頑張ってください。

《感想》 1年()組()番 氏名()
